

を提出。意味不明で発議するのはいかがか。

**答 筒井（一）議員**

前回の公約は生きているとは言っていない。ただ、町長の「考えていく」との発言は、保育料の無料化かどうか、何を意味するか分からないが、この発言があったから提出した。

**問 井上（敏）議員**

財政の健全化を図るために、町長の報酬カットを提出するなら、議員もカットすべきとの話をしたのか。

**答 筒井（一）議員**

議員カットの話はない。町長が、住民に対して報酬カットを示せば、公約実現のために努力していると意欲を感じられるのではないかとの思いで提出した。

**問 井上（敏）議員**

前回10%カットは認めら

れていない。今回カットしても意欲を見せたとの判断にならないではないか。

**答 筒井（一）議員**

町長発言の中に、カットの思いがあると考え提出した。これが本財源になるとの考えはない。

**問 森議員**

町長は答弁で、「10%カットは考えている」とのことから、条例の一部を改正する発議を提出したとのことだが、町長は一人で決めることはできないので、庁議とか審議会などの意見を聞きながらの「10%は考えていきたい」との答弁だったと思うが理解できないものか。

**答 筒井（一）議員**

町長の給与に関しては、条例に基づいて町長の給料は決まるものと考えている。予算（案）に保育料無料化・総合案内や陳情書の

光ケーブル通信など、今後いろいろな予算を伴うものが上がってくる。町長の給料を10%カットしたから賄えるとは思ってもいないが、仮に5%でも町民に対して町長は給料をカットしたというのであれば理解も得られるのではないか。これまでの町長答弁の中で「10%カットは考えている」という答弁をしていなかったら、このような条例の一部を改正する条例は提出しなかった。

**問 山崎議員**

今までの答弁から、住民に対して町長のやる気を見せるための給料カットというように取れる。保育料の無料化は歓迎できるが、それを町長の給料カットで賄うということが、本当に住民が望んでいることなのか疑問が残るが、どう考えるか。

**答 筒井（一）議員**

これで財源が生まれると

は全然思っていない。5年前の町長の公約に「給料10%カットで17万円の財源が生まれる」というのがあった。これをするによって、町長としての意欲が見せられるのではないか。10%が5%でも意欲を見せられるという話もした。これで保育料無料などの財源を賄うのは絶対無理。

**反対討論**

**森田議員**

いの町長等の給与に関する条例の一部を改正する条例案に、反対の立場で討論する。質疑により、提案理由の「池田町長が公約を実現するために財源確保が求められており、かつて池田町長が公約に掲げた町長給与10%カットをする」ということは、あてはまらないことが判明した。

かつて前町長が、財源がないから、消費税が8%になったら乳幼児の医療費を無償にするとし、

県内の他の市町村より無料化が大変遅れた。

政策実現のための財源を確保するのは町長の役目で、何に財源を求めるか、町長の手腕にかかっている。

町長の給料カットというなら、他の特別職、議員などの給与が適当かどうか、「特別職俸給等審議会」に答申すべきである。

**賛成討論**

**市川議員**

今議会において、議案第79号平成29年度いの町一般会計補正予算（第2号）議案が提出され、その中には、町長の公約であった子育て支援、総合案内所などの予算が計上されている。

一般質問では「内部で十分な論議はできているのか」「財源を確保してからの実施とすべきでないか」との質問も多くあった。

今回の補正では前年度